

## 第 1 回 SC 委員長会議報告

日 時： 1999 年 10 月 15 日（金）13:00～17:00

場 所： 電気学会会議室

参 加 者： 各 SC 委員長，甘粕委員長，市田副委員長，関根財務担当役員，幹事団ほか，  
合計 26 名

会議内容：

### (1) 本部状況報告

発展途上国対応として Regional Meeting を開催することになった。フランスの税制変更により，VAT 付加価値税がセッション会費に付くことになった。SC Chairman の任期が 6 年から 4 年へ変更になった。SC Regular Member の任期 6 年は変わらず。

### (2) 各 SC からの報告と質疑

15 の SC 委員長（委員長代理）から，今年の活動状況と今後の計画や意見・要望の説明あり。

### (3) 日本主催 CIGRE 会議について

アジアオセアニア地域のメンバーを対象とした国際会議（拡大 SC 会議または Asia-Oceania Regional Council コングレス）を，日本主催で近い将来開催したい旨の提案あり。

### (4) パリ大会論文選考方法のあり方について

パリ大会論文採択率が前回 92%から今回 75%と低下した。論文委員会の選考として，従来は本部採択競争への応募論文数を絞っていたが，今後は先ず日本代表に相応しい論文を日本枠として選考し，さらにあるレベル以上の論文は全て本部・SC 競争ベースとして選考することとしたい旨提案があった。但し，本件は各国の論文採択状況等を調査し，2002 年の本部論文選考方法に対応してさらに検討する。

### (5) CIGRE グランドデザインについて，Region 化への対応等

国内委員会幹事団で，CIGRE を取り巻く環境と問題点，CIGRE の役割と貢献の見直し，組織のあり方，日本の貢献について検討を行なっている旨報告あった。

### (6) SC 国内分科会委員長交代に関するルール・手順の紹介

2000 年 JNC 総会，パリ大会で任期のくる SC 分科会委員長の紹介と，委員長交代のルール，手順の説明あり。

以 上